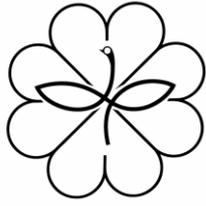


白井市民児協だより



# きずな

皆さまへ

年が明け、早や3ヶ月が過ぎようとしています。その間、能登半島の大地震・羽田空港の衝突事故・大雪による死者や負傷者などなど、心痛む出来事が続きました。特に、地震などの自然災害については民生委員としての活動がどうあるべきかと思ひ悩むところでもあります。東日本大震災では、多くの民生委員が住民への支援活動の中で命を失われました。このことから、改めて発災時、委員自身や家族の安全確保を最優先とし、民生委員としての災害対策活動は、平常時の訪問見守りが重要とうたわれております。 (会長 福岡 幸子)

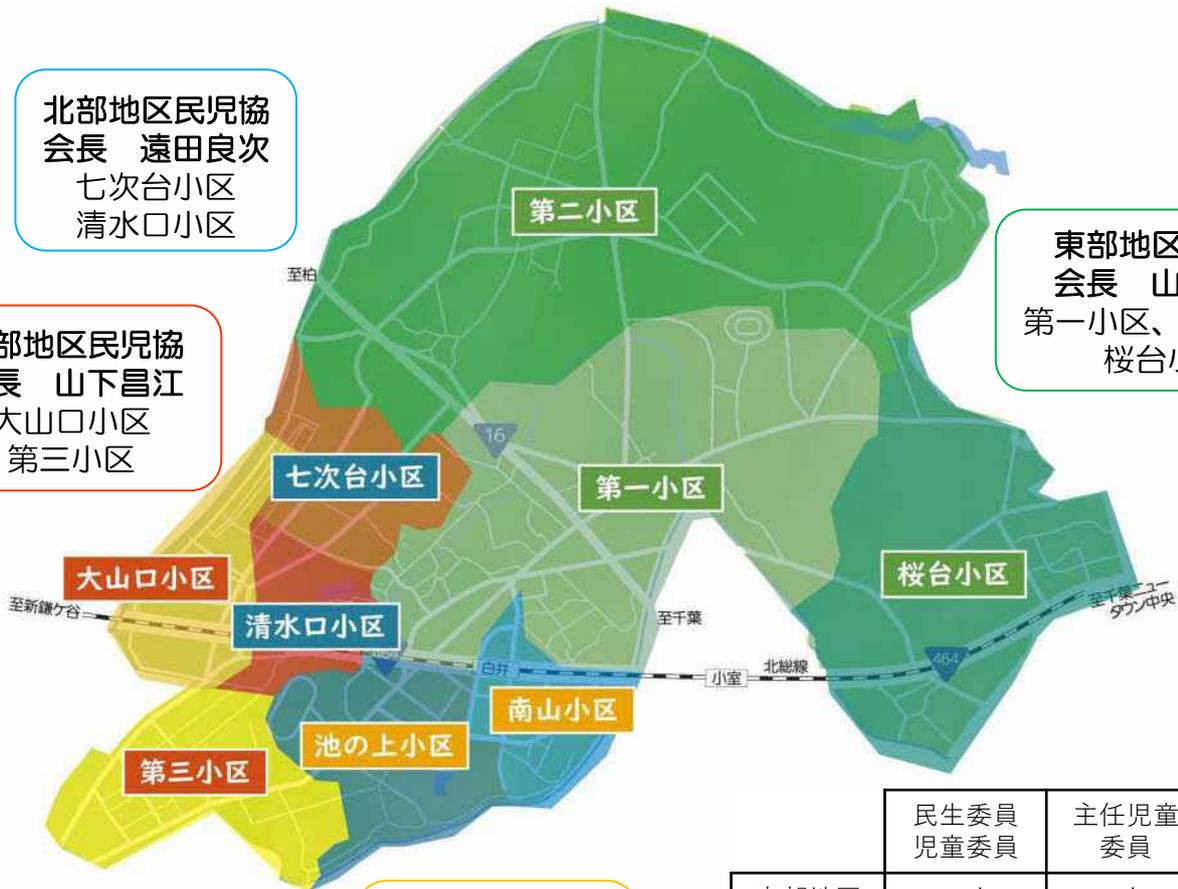


## 白井市民児協を構成する四つの地区民児協（単位民児協）

北部地区民児協  
会長 遠田良次  
七次台小区  
清水口小区

西部地区民児協  
会長 山下昌江  
大山口小区  
第三小区

東部地区民児協  
会長 山崎雅由  
第一小区、第二小区  
桜台小区



南部地区民児協  
会長 福岡幸子  
南山小区  
池の上小区

	民生委員 児童委員	主任児童 委員	欠員
東部地区	13人	2人	5人
西部地区	21人	2人	4人
南部地区	15人	2人	4人
北部地区	15人	2人	6人

## 東部地区

コロナウイルスによって、さまざまな支援が止まり、その結果、大切なface-to-faceの関りができにくくなった。何としても関りを再生するか、それに代わる行動を生み出していかなければならないか、今何をすべきかをコロナに問われているのではないかと感じる。

民生委員は、地域のために貢献したいという隣人愛や奉仕性、住民との信頼関係、自らも地域の一員となって住民の視点に立つ事を、大切に守り続けていくべきだと感じている。

互いの違いを認め合い、住民同士の新たな繋がりを尊重した共生社会の実現を目指し、また、地域ケアは単に身体的ケアだけではなく、生活を支えるような取り組みが求められている。

昨今の地域における生活課題は複合的で解決の道のりがなかなか見えないものが増えている。だからこそ、住民、町内会、民生児童委員、社会福祉法人、NPO、行政等がそれを解決していくために、取り組んでいく過程で絆が生まれ、その絆が地域の基盤を作っているように感じている。  
(山崎雅由 記)



## 西部地区

西部民児協は、歴史の古い第三小学校区と千葉ニュータウンに含まれる大山口小学校区で構成されている。第三小学校区の自治会数が多いという違いはあるものの、まちづくり協議会の発足はどちらの小学校区も早く、活発に活動している。民生・児童委員はそれぞれの地区社協やまちづくり協議会に属する人が多く、地域に密着した幅広い活動を行っている。

地域住民の高齢化や民生・児童委員の欠員を近くの委員がカバーしているというのは他の地区と同じ状況である。定例会では、会員相互の「事例報告」を発表し合うことにより、悩みを共有したりアドバイスしあったりしており、西部地区の目玉事業といえる。

西部地区は1月23日、ガスの科学館及び豊洲市場への見学研修を行った。暮らしを支えるガスエネルギーの特長やこれからの暮らし、気候変動などの社会課題について見学してきた。一日中行動を共にすることで新たな親睦の場にもなった。

(森岡義人 記)



## 南部地区

南山小学校・池の上小学校児童の下校見守りやパトロールを月1回行っています。

特に、池の上小学校区は車両通行量の多い幹線道路脇の狭い歩道や横断歩道のない道を通って登下校する児童が多いため、危険箇所など数か所を拠点にして児童に声をかけています。交差点や横断歩道では交通安全協会から贈られた「横断中」と書かれた大きな黄色の旗を持って「気を付けて帰ってね」

の、私たちの呼びかけに「は～い」「ありがとうございます」の可愛い声や丁寧な返事が行き交い、児童たちとのいっときのふれあいを楽しみながら、見守りを行っています。  
(杉野桂子 記)



昨年11月に行なった施設見学研修会で、つくば市にあるサイバーダイnstスタジオに行き、脳からの信号を検知して思い通りの動きをアシストしてくれる「世界初の装着型介護サイボグHALU®」の解説や介護、リハビリ、重作業などに役立つ様々な技術について、説明を聞きました。そして、実際に腕に装具を付けて、最先端技術の動作原理の体験もしました。

これからも技術の進化開発により、医療や介護へのさらなる期待が感じられた有意義な1日となりました。

また、宇宙開発センターや筑波ハム工場の見学もしました。

(菊池由紀子 記)



## 北部地区

令和5年は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、多くの地域行事が再開されるようになりました。北部民児協の活動も通常に戻り、委員のみんなと共に、日々さまざまな活動に取り組み支援を行っています。

定例会の運営にあたっては、地区連絡事項・各研修会報告・活動事例検討・主任児童委員からの報告などについて連絡会議を開催し、委員みんなが委員経験年数にかかわらず、気軽に発言できるよう努めています。また、地域に寄り添い、高齢者への訪問や見守りを活動の中心に据えています。

内部研修会として、今年度は、「なるほど行政講座」を活用し「だまされない消費者になるために」をテーマに、高齢者が巻き込まれやすい詐欺や悪質商法の手口について、消費生活相談員による講義を受講しました。

施設見学研修会は、東日本大震災の被災地である旭市防災資料館、いいおかユートピアセンター等を訪問しました。震災から13年の月日が流れ、今年能登半島地震が発生し被災された方々に想いを寄せると共に、改めて当時の遺構や資料に触れ、慰霊碑に花を手向け静かに手を合わせ、地域における防災対策について学びました。(遠田良次 記)



# 専門部会の活動

## 【災害対策部会】 (森岡 記)

未曾有の大災害となった1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災を受けて、防災・災害に対する関心は、非常に高くなってきたと思われる。その後も2016年の熊本地震と規模が大きい地震があり、今年も元日早々に能登半島地震が発生し、大きな被害が出ている。

必ず来ると言われている南海トラフ地震や富士山の噴火なども囁かれています。この白井市でも地震への備えが必要で、地域によっては風水害の備えも必要になる。

災害対策とか防災対策と言えば、日頃からの災害への備えと災害後の対応策が考えられる。

したがって、防災対策に関しては行政やまち協と協力、連携し、白井市民児協としての活動は行政やまち協で出来ない、目が届かないところに重点を置き、「民生委員児童委員でないといけない、民生委員児童委員だからできる」と言ったことをやっけていこうと考えている。



## 【認知症部会】 (井川 記)

今回初めて発足しました認知症部会です。認知症は誰もがなり得る病気です。

高齢化が進み、民生委員として担当する方に認知症と思われる症状がでたり、言動に違和感を感じて認知症の予兆に気が付くことがあります。

部会では、認知症に関する知識や対応の仕方、また、実際に施設を訪問するなどの研修についての希望をききましたが、コロナがら類になったとは言え、まだ施設を大人数で訪問することは難しいため、今は高齢者福祉課の保健師の認知症に関する知識等の講義を聞く事が続いています。

もう少し、感染症の流行が落ち着けば、希望する施設訪問活動ができるのではないかと心待ちにしている状況です。

次年度には、また少しでも、活動が進められることを切望しています。



## 【児童部会】 (高城 記)

有名人の違法薬物使用に関するニュースなどが若年層へ大きな影響を及ぼしており、児童福祉においても課題と感じている今日です。

委員の活動に際して薬物依存の状況、その経過、支援、コロナ禍などを踏まえた現状などについて知ることで、日々の活動に活かして行けたらと思い館山ダルクに行きました。

D:DRUG (ドラッグ) 薬物
A:ADDICTION (アディクション) 病的依存
R:REHABILITATION (リハビリテーション) 回復
C:CENTER (センター) 施設、建物

館山ダルクは、関連クリニック、一般寮、職員寮、生活訓練施設、事務所、就労継続支援施設(B型)を有しています。

110~120人の方が利用しています。最も印象に残っているのは薬物依存から回復されて、今はスタッフとして、仕事されている当事者のお話で、ご自身の経験と薬物依存から立ち直った生の声が聞けた事です。



## 【自立支援部会】 (吉田 記)

### 1 今年度の勉強会

①高齢者の自立支援対策  
自分でできることを探す その人らしい生活  
自立した生活 声をかけていく

②生活困窮者自立支援

お困りごとはありませんか(仕事のこと,お金のこと,くらしのこと,住まいのこと,家族のこと)

- ・縦割りではなく、広く受け止め関係者が一つになって対応すること(包括的な支援)
- ・一人一人に合った支援(個別に)
- ・社会的孤立の状態  
自らSOSを発する難しさ(早期に)
- ・時間を要する場合あり  
継続的に支援していく(継続的)
- ・地域によって大きく異なる  
地域の助け合い(分権的)

③障がい者自立支援

2月19日に障がい者の支援活動を通して社会福祉に寄与する就労継続支援施設(豆腐の製造販売、リユース工房)の見学と粗大ごみ等の中から使えそうなものを障がい者就労継続支援施設で修理、清掃して販売する工房の見学



### 2 今後の取り組み

- ・勉強会を行う
- ・高齢者施設の見学
- ・障がい者の方と一緒に活動(お手伝い)